

ピックアップ キラリあさひ人

vol.1

まちの主人公は「ひと」。

さまざまな分野からキラリ輝く人をピックアップし、紹介します。



市民一体の 七夕まつりへ奮闘

旭市七夕市民まつり企画実行委員会

飯島 隆太さん(ハ)

実家の衣料品店で働く飯島さんは、旭青年会議所に所属、さまざまな活動をする中で、今年から、七夕市民まつりの企画にも携わっている。震災の影響で、開催が心配された祭りだが、復興への祈りを込めた市民祭りとして実施されることが決定し、飯島さんも毎日祭りの準備に奔走している。

「旭の元気な姿を全国へアピールできれば、支援してくれた人たちへの恩返しにもなっていると思います」と、開催への意欲を語る。

飯島さんが働く衣料品店は、まさに七夕市民まつりが行われる商店街にある。小さいころからずっと見てきた。

「もっと大勢の市民が一体となって、元気になる祭りにしたい……」

企画実行委員会では今年、いいおかY・O・U・遊フェス

ティバルや砂の彫刻美術展など、例年夏のイベントを企画している人たちも委員となり、連日連夜一緒に企画を練っている。

「新しい企画が盛りだくさんで、とても楽しい祭りになると思います。多くの人に感動を共有してもらい、震災で深まった絆をさらに深めて欲しいです」

飯島さんの夢は膨らむ。

行政へ一言！

「震災後のボランティア活動を通じて、行政と市民団体が二人三脚で活動することの重要性を痛感しました。地域を興すためには、行政の行き届かない部分を、活動実績のある市民団体と協力していくべきではないでしょうか。より具体的で、多様な住民の声が反映されていくと思います」

【旭市七夕市民まつり】

第57回を迎える旭市の夏の風物詩。今年は「復興祭」として、例年のみこしパレードに加え、参加者全員で踊る旭音頭が祭りを盛り上げます。

開催日／8月6日(土)・7日(日)

場所／中央商店街ほか

